

「だんないで子育てフェスタ2018」の報告

1. 目的

近江八幡市子ども・子育て支援事業計画に沿って、すべての子どもの健やかな育ちと子育てを支援し、「子どもの最善の利益」が実現されるまちをめざし、子育て不安の解消や地域の繋がりを醸成を図るため、『だんないで子育てフェスタ2018』を実施した。

2. 日時・会場 平成30年9月1日（土） 10時～12時、13時～14時30分
総合福祉センター「ひまわり館」

3. 対象 妊娠期～子育て中の親子、子育てに関心のある方

4. 目標と企画

目標1 相談・情報提供にて、子育ての不安を解消

- ・相談の場等の情報提供
- ・子育て世代包括支援センター、食育、受動喫煙等の展示

目標2 親子が子育て支援の団体を知るとともに、支援団体の繋がりを醸成

- ・ビジターさんと一緒に遊ぼう（ホームスタート支援員・ビジター）
- ・割れないしゃぼん玉？くるくる回す手作りおもちゃ&自由遊びのスペース（子育て応援隊「Mom's fun」）
- ・ファミリーサポートセンターの利用説明&登録会
- ・まちづくり協議会等の子育て支援団体・企業のポスター展示
- ・10倍粥を作ってみよう！（子育てボランティア団体「わいきゃきゃ」）
- ・おもちゃ病院（地域ボランティア）

目標3 仕事と子育ての両立実現を啓発（特に、父親・母親が共に子育てをする意識醸成）

- ・講座／木のおもちゃで遊ぼう
- ・講座／親子でカラダあそび
- ・企画／「寝ぞうアート(ハロウィンアート)、親子で手形♪成長記念」
- ・地域型保育事業の紹介
- ・保育施設への入所相談
- ・結婚・子育て映像（地域少子化対策強化学業の成果物）の放映

5. 報告

(1) 来場者数（玄関前受付の記録）

組数 129組 / 大人 180人（祖父母 8人、父 41人）、子ども 177人

※H29 年度実績 123組 / 大人 160人（祖父母 11人、父 28人）、子ども 159人

※H28 年度実績 組数 130組 / 大人 170人（祖父母 8人、父 38人）、子ども 173人

(2) 各ブースでの受付数

AM	PM	企画名	組数	※参考値	
				大人	子ども
	●	親子でカラダあそび	13組	16人	18人
●		10倍粥を作ってみよう！	5組	7人	4人
●		ビジターさんと一緒に遊ぼう	48組	48人	69人
●	●	体験工房 親子で手形♪成長記念	75組	100人	104人
●	●	寝ぞうアート(ハロウィンアート)	80組	106人	109人
	●	割れないしゃぼん玉&自由遊び	22組	31人	29人
	●	保育施設への入所相談	9組	13人	6人
●		ファミリーサポートセンター 利用説明&登録会	9組		
●	●	おもちゃ病院	23組		

(3) アンケートの結果（回収数 88枚） ※H29 年度実績 99枚

① 在住区域

市内 85人	八幡 17、島 3、沖島 0、岡山 7、金田 28、桐原 8、 馬淵 0、北里 2、武佐 1、安土 9、老蘇 10
県内 2人	県外 1人 不明 0人

② 来場者（アンケート回答者）の家族構成

大人 119人	<参考：祖父母 6、父 26、母 82>	子ども 121人
※H29 年度実績 大人 126人、子ども 124人		

③ フェスタ情報を得た媒体

（複数回答）

市広報紙「8月号」(41)	チラシ (40)	ロコミ (9)	ホームページ (5)
タウンメール (0)	フェイスブック (6)		

※平成 29 年度より、チラシから情報を得た割合（46%→40%）が減った。

(4) 当日の様子 (写真)



▲オープニング



▲木のおもちゃで遊ぼう



▲親子でカラダあそび



▲おわりの会



▲いろんな展示コーナー



▲ビジターさんと一緒に遊ぼう



▲割れないじゃぼん玉&自由遊び



▲体験工房「親子で手形」



▲寝ぞうアート



▲ファミサポ利用説明&登録会



▲パネル展示 (保育施設)



▲パネル展示 (受動喫煙)



▲10倍粥を作ってみよう



▲おもちゃ病院



▲受付 (記念品引換)

6. フェスタ後の所見

(1) 昨年度より来場者が増えました

- ・初めて開催した3年前から毎年130組程度に参加いただいておりますが、今年の実来場者数は129組と昨年より微増しました。今年は、幼稚園や保育園等へのチラシ配布数を減らしましたが、同等程度の来場者数がありました。また、子どもセンターや子育て支援センターの利用者も数多く来場されていたことから、センターの利用者への案内（声かけ）の効果が高いと考えられます。
- ・一方で、チラシ配布数を減らしたため、フェスタ情報を得た媒体として、チラシを選択した人は6ポイント減少する結果となりました。

(2) 父親の参加が増えました

- ・昨年よりも父親の参加が大幅に増加しました。一緒に体験できるコーナーや、木のおもちゃなど自由に遊べるコーナーにて親子と一緒に遊んでおられる様子がありました。
- ・しかし、スタッフから「退屈して疲れてしまっている状況もあった。パパが子どもと一緒に楽しめるゲームのようなものがあつたらいいな」との報告があつたことから、来年度は一緒に楽しめる体験型の企画を検討してはどうかと考えます。

(3) 午前中の参加が多くありました

- ・来場者数は午前98組、午後31組と、7割以上が午前中に参加されました。これは、昨年と同様の傾向のため、午前中に活動される親子が多いことが分かります。特に親子に伝えたい事項や啓発したい内容については、午前の時間帯にて企画する方が効果的であると考えられます。
- ・しかし、午後の企画スタッフからは「少人数の参加だったからこそゆったりとした時間の中で、一緒に製作をしたり、お話ができたりと、交流することができた」との報告もありました。このような午前・午後の時間帯の特性を生かした企画にて組み立ててはどうかと考えます。

(4) 今後の展開

- ・今回、子どもセンターなど行政による企画に加え、子育て支援団体による企画を合同で実施することができました。このフェスタが、子育て支援団体の活動と親子が繋がるきっかけになったとともに、子育て支援団体同士も繋がるきっかけになりました。
- ・このようなフェスタの場において、行政・民間・ボランティアが連携しながら親子向けの活動を展開することがきっかけになって、地域社会全体で子育て支援に取り組む機運が醸成されていくのではないかと考えます。